

東日本大震災義援展

南相馬市 現地視察レポート

2016年11月7日（月）～8日（火）

青梅アート・ジャム実行委員会

はじめに

震災から5年の歳月が流れ、以来青梅市立美術館で開催されている義援展は、今年度より石巻市から、青梅市と防災協定を結んだ南相馬市へと支援先を変えて、新しい展開を見せています。

昨年度11月に、青梅アート・ジャムの作家達で現地の被災状況の視察したことで、義援金を届けるのみではなく文化活動を介した現地との交流の必要性を感じ、南相馬市長との会合や現地作家との打ち合わせを行う流れとなりました。

来年度は青梅での義援展の開催ではなく、現地での交流展や小学校でのワークショップ、能の公演等の各種イベントを通じた、現地とのより密度の高い文化交流を考えております。

視察メンバー

杉本 洋 (日本画家・文化庁文化交流使)
NPO 文化交流機構「円座」理事長 青梅アート・ジャム代表

松島 美知子 NPO 文化交流機構「円座」事務局長

池田 菜摘 (水彩画家)
青梅アート・ジャム 参加作家

坂内 洋行 青梅アート・ジャム 実行委員

福島県相双地区作家

鈴木 龍郎 (日本画)
本年度義援展出品作家

須田 美紀子 (洋画家・二科会会員)
本年度義援展出品作家 中島敏明(洋画家・二科会理事)紹介

視察経路

1日目 常磐道 → 南相馬 I.C. → 南相馬市市役所 → 銘醸館視察 → 同慶寺
→ 現地作家宅にて打合わせ

2日目 同慶寺 → 請戸小学校視察 → 浪江町内視察 → 常磐道

宿泊場所

小高山 同慶寺 (相馬藩藩主菩提寺) 〒979-2102 福島県南相馬市小高区小高上広畑2 4 6

交流展示予定会場

銘醸館 〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町2丁目5 2

11月7日 15:00

南相馬市市役所にて南相馬市長桜井勝延氏、南相馬市教育長 阿部貞康氏と面会し、次回の義援展についての話し合いを行いました。

面会の中では、相双地区（相馬市から双葉町までの地区）の作家との共催での義援展の参加や、銘醸館での文化庁文化交流使による公演などの提案がなされました。

また、最近避難命令が解除され授業が再開された学校も多く、福島県立博物館館長の赤坂憲雄先生が現地の小学校で色々なワークショップを行いたいと希望しているという話も出てきました。

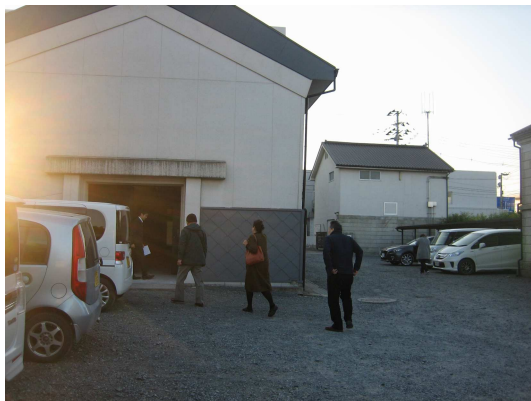
市長からのお話には、原発事故で大きな被害を受けているが、地元の人にとっては原点の場所と言える小高地区を中心としたイベントを企画できたら、との希望もありました。

他には、来年度のワークショップのアイデアとして、小学校向けに「馬を描こう」ワークショップの開催や、先に福島で能の公演を行っている能楽師橋岡佐喜男さんと青梅アート・ジャムとのコラボレーション、南相馬市の馬事文化・野馬追を知ってもらえるようなワークショップなど、様々な提案がなされ、短いながらも充実した面会となりました。



11月7日 16:00

南相馬市展示施設「銘醸館」を視察。



17:00

同慶寺にて田中徳雲住職に、昨年に引き続き南相馬市の現在の状況についての説明を受ける。また、同席した宮崎県に避難中の小高地区同慶寺近隣の住民の方からも、被災当時のお話を合わせて伺った。

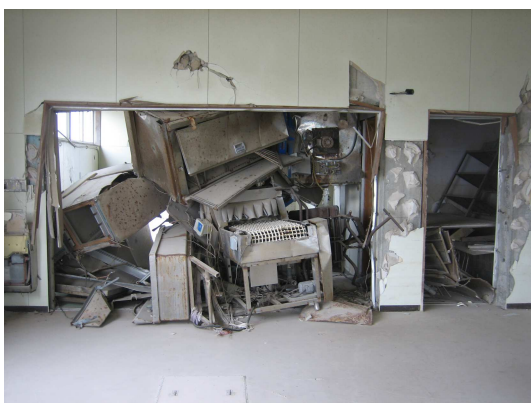
18:00

現地作家須田美紀子氏と、鈴木龍郎氏2名と、作家自宅にて義援展についての打ち合わせを行う。



11月8日 11:30

今年津波の被害の跡が今も残る、浪江町・請戸小学校を視察。



12:00

浪江町内の除染の状況を車から視察。



昨年視察した際に除染した袋が集積されていた場所は、新たに柵が設けられていた。



まだ除染作業が継続して行われている箇所も多数見られた。